

授業科目 障害者福祉論 I

【担当教員名】 手塚直樹、塩見義彦	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・栄養・社会
	開講時期	後期	必修・選択	選択・選択・選択・選択・必修
	単位数	2	時間数	30

【概要及び学習目標】

◇概要

障害者福祉の基本理念、障害の概念と障害別特徴、障害者の実態、障害者福祉の歴史と最近の動向、障害者福祉の法とサービス体系、障害別ニーズの特徴と援助の内容等、特に最近の激しく移り変わる社会福祉の動向の中で、ノーマライゼーションの理念に基づく地域福祉の整備・充実、障害者福祉の果たすべき役割、関連領域との連携による障害者福祉の向上や課題について具体的に学ぶ。

◇学習目標

- 1, 現代社会における障害者福祉の理念、原則を学習する。
- 2, 障害の概念、障害別の特徴、障害者の実態を学習する。
- 3, 障害者福祉の歴史、最近の障害者福祉の動向について学習する。
- 4, 障害者福祉の法・制度と障害別のサービス内容を学習する。
- 5, 障害者福祉の関連分野の状況と連携の必要を学習する。
- 6, 障害者福祉の課題、将来方向について学習する。

回数	学習の主題	学習内容	学習方法
1	障害者福祉論のオリエンテーション	講義の目標、内容、方法、評価等のオリエンテーション。	講義 (以下同じ)
2	障害者福祉の理念、原則	人権、ノーマライゼーション、リハビリテーション、QOL等の基本理念の尊重を理解する。	
3	障害の概念、障害別特徴	法律による概念規定、WHOの障害分類、障害別特徴を理解する。	
4	障害者の実体、状況の把握	国、県、地域レベルの障害者統計、実態を把握する。	
5	障害者福祉の歴史、最近の動向	障害者福祉の歴史、国際障害者年、障害者プラン、社会福祉基礎構造改革等最近の動向を理解する。	
6	障害者福祉の法・制度・サービスの体系	障害者基本法、各障害者別法律、制度、サービスの体系を理解する。	
7	障害別にみた制度、サービスの具体的内容	身体障害者、知的障害者、精神障害者等の制度、サービスの具体的内容を理解する。	
8	リハビリテーションプロセスと障害者福祉サービス	社会リハビリテーション等リハビリテーションプロセスと障害者福祉の連携および義肢・装具等の制度と活用を理解する。	
9	障害者福祉の関連分野の状況と連携の必要(1)	保健・医療・教育・雇用・年金・所得保障等の状況と連携の必要を理解する。	
10	障害者福祉の関連分野の状況と連携の必要(2)	住宅・生活環境・スポーツ・文化活動等の状況と連携の必要を理解する。	
11	障害者運動、市民活動、民間活動	障害者運動の歴史、自立生活運動、まちづくり運動、ボランティア活動、社会福祉協議会の地域活動等を理解する。	
12	障害者福祉の課題、将来方向	人権をはじめ地域福祉を主体とした障害者福祉の課題、将来の方向について理解する。	
13	障害別の事例をとおしてみたニーズの把握と相談・援助の実際(1)	身体障害者、重複障害者、難病等の事例をとおして相談・援助の実際を理解する。	

回数	学習の主題	学習内容	学習方法
14	障害別の事例をとおしてみたニーズの把握と相談・援助の実際（2）	知的障害者、精神障害者、高齢障害者等の事例をとおして相談・援助の実際を理解する。	
15	質疑の総括と全体的なまとめ	障害者福祉論の講義を通しての質疑の総括と全体のまとめ。	

【評価方法】

レポート・試験・出席状況から総合的に評価する。

【履修上の留意点】

特になし。

【使用図書】

教科書・参考書別	書名	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書	『障害者福祉論』	手塚直樹、加藤博臣 編	ミネルヴァ書房	平成13年4月 (価格未定)
参考文献	講義の中で適宜紹介			